

【地域活動ノート】

学生の課外活動における子ども食堂の取り組み*

——城西大学ローターアクトクラブの地域活動——

成瀬秀一郎**

活動の概要

城西大学ローターアクトクラブ（以下、城西大学RAC）は、坂戸ロータリークラブの支援のもと、城西大学の公認サークルとして坂戸地域を中心に地域奉仕活動を行っている。活動の目的は、会員である学生が奉仕を通じた交流により親睦を深め、地域奉仕活動を通じて課題解決能力や社会人基礎力を育むことである。主な活動として、西坂戸地区で開催されている子ども食堂における交流イベントの企画・運営や、季節イベント（ハロウィン、クリスマス）の運営などを行っている。本稿では、このうち、子ども食堂での活動について紹介する。

キーワード：ローターアクトクラブ、子ども食堂、西坂戸、地域交流、ボランティア

子ども食堂への参加

城西大学に隣接する埼玉県坂戸市西坂戸地区には、「おこちゃマイル」という子ども食堂がある。おこちゃマイルは、子どもたちを地域全体で見守る意識を高めるとともに、食育を通じた子どもの居場所づくりを目的とし、毎月第4土曜日に西坂戸自治会館で開催している。城西大学RACはおこちゃマイルの活動に賛同し、子ども向けの交流イベントを企画・運営することで、子どもの居場所づくりに協力している。以下では、2023年に企画・実施した子ども食堂おこちゃマイルにおける交流イベントの一部を紹介する。

○3月「人間すごろく」

3月は、参加者自らが“コマ”になり“マス”を進む等身大のすごろくである「人間すごろく」を実施した。

すごろくのマスは、子どもたち、学生、子ども食堂に来た地域の方たちと合計で約50枚作製した。人間すごろくは、ごほうびマス、クイズのマスなどの様々な種類のマスを自由に配置にすることができるため、配置を工夫することで遊び方の幅が広がった。



写真1：人間すごろくの様子

* 本稿の執筆にあたって、城西大学ローターアクトクラブ顧問の庭田文近先生（現代政策学部教授）にご指導を頂いた。

** 城西大学ローターアクトクラブ会長・経済学部3年生

○6月「ペットボトルボウリング」

ペットボトルボウリングでは、空きのペットボトルをボウリングのピンとして再使用した。当日は、個人でのボウリングの他に、2チームに分かれたチーム戦を行った。また、ピンの側面に1から10までの点数を張り付けるといった工夫をした。これにより、通常のボウリングに加えて倒したピンの合計得点を競う遊びもできるようにした。



写真2：チーム戦の様子

○10月「城山ハロウィン2023」

城西大学RACは、子ども食堂の活動の延長として、10月に西坂戸地区の城山ハロウィンのイベントの企画・運営を行っている。このハロウィンイベントは2021年から企画・運営しており、今回で3回目の開催となった。イベント当日は、ミニゲーム企画と経営学部石井ゼミナール（ローカルヒーロー研究）によるステージショーを実施した。

ミニゲーム企画は、各ゲームを遊ぶことで獲得できるポイントが一定数を超えると、お菓子の詰め合わせと交換できるというものである。ミニゲームは、射的、ボウリング、バスケ、ビー玉ピンボール、クイズの5種類を用意した。ミニゲーム企画の時間が終了した後に、石井ゼミナールがステージショーを公演した。当日は西坂戸地区の商店街に約200人の参加者が集まり、大いに盛り上がるイベントになった。



写真3：射的の様子



写真4：ヒーローとの撮影会

○11月「手形アート作製会」

11月の交流イベントは、現代政策学部で庭田先生担当する専門科目「地域イノベーション」の履修生が立ち上げたプロジェクト「みずいる大学」とのコラボ企画として実施した。

本企画は、木の部分だけが描かれた用紙に、手に塗った絵具で手形を付けていき、全員で一つのアート作品を完成させるというものである。完成した作品は城西大学水田美術館に展示された。



写真5：作品制作の様子

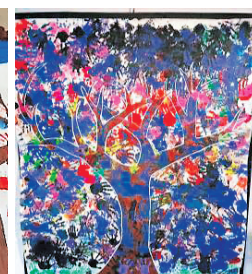


写真6：完成した作品

最後に

以上、2023年の城西大学RACの活動のうち、子ども食堂における活動を紹介してきたが、当クラブは他にも地域活動として、西坂戸地区の様々な行事の手伝いも行っている。今後は、こうした地域活動で得た経験をもとに、城西大学RAC主催のイベントを開催していきたい。

なお、本稿で紹介した活動に関しては、おこちゃマイルのスタッフの方々に多大なる協力を頂いている。また、当クラブの活動においては、坂戸ロータリークラブから多大なるご支援を頂いている。ここに記して感謝の意を表したい。